

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 147	提案機関名 畜産技術所
要望問題名 遮熱塗料による畜舎等の暑熱環境の改善	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 夏の電力不足も考えられ、畜舎の暑熱対策は急務である。 過去に行われた試験で、畜舎屋根に植物パネル等を設置することで、屋根直下の気温が低下することが認められている。しかし、畜舎強度の関係や工事費が必要なことから普及が進んでいない。屋根に石灰を吹き付けることで、太陽の熱の吸収を防ぐ方法も知られていることから、耐用期間が短く畜舎の腐食も懸念される石灰に代わり、遮熱性の強い塗料を屋根や壁面に塗布することで、畜舎内の暑熱環境を改善し、生産性を向上させる手法を構築願いたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 遮熱性塗料の畜舎への塗布については、屋根の断熱効果が期待されます。しかし、断熱効果は屋根の構造により大きく異なるため、注意が必要です。昨年度、当所の牛舎屋根に石灰乳を塗布し、塗布作業や塗布前後の屋根、畜舎内の気温の調査を行ったところ、当所の牛舎では屋根による暑熱対策は効果的ではないとの結果を得ました。当所のような屋根が高い畜舎や天井がある畜舎では効果判定が難しいと思われます。 暑熱対策は畜舎構造や周辺環境など個別の状況に応じた方法を選択することが大切と思われます。現場での取組状況を調査している普及指導課と連携しながら調査指導を行っていきます。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			